

ひとりで
悩まないで…
気軽に
ご相談を…



女性専用電話相談です。
相談は無料で
秘密は厳守します。

とらいあんぐるん相談室

電話 **027-224-5210**

●相談日と時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00		○	○	○	○		
13:00～16:00		○	○	○			

・年末年始、祝日は休み
・月曜日が祝日（振替休日含む）の場合、火曜日も休み

●相談内容

家庭の問題の他、女性の自立や能力の発揮、性差に関する悩みなど…

図・書・紹・介

・当センター「図書コーナー」にある本を紹介しています。

【貸出しのお約束】

・一人5冊まで ・期限：2週間 ・利用時間：9時～17時



『幸福の値段』
吉川美有紀/Media
アファクトリー
1,200円(税込)
◆『気分良く過ごすこと』『好きなものを好き
きと言うこと』『自分の
時間を持つこと』が
幸福な人生の鍵。お金の
ことや、こころのこ
とを考える一冊。



『こんな上司が部下
を追いつめる』
荒井千暁/文春文庫
560円(税込)
◆過労はいかにして体
をむしばむか？倒れそ
うな部下をどう救う
か？働く人たちの心の
ケアを現場でおこなっ
ている産業医の緊急
メッセージ。



『空中庭園』
角田光代/文藝春秋
1,680円(税込)
◆父、母、娘、息子、
祖母、父の浮気相手の
それぞれの視点から見
た6つの短編。個性
的な登場人物が、他人
とどう折り合いをつけ
ながら生きているか。

センターのご案内



●お車でお越しの際は、県庁内「県民駐車場」をご利用ください。

●開館時間：・火～金 9時～21時
・土、日、祝 9時～17時

●休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は直後の平日）
12月29日～1月3日



●大研修室《半日：3,500円》



●小研修室《半日：800円》



●中研修室《半日：1,600円》



●交流コーナー

●研修室の貸出しを行っています。詳しくはホーム
ページをご覧ください。

ぐんま男女共同参画センター 🔍 検索

〒371-0026
群馬県前橋市大手町1-13-12
電話 **027-224-2211** FAX **027-224-2214**
メール sankakuse@pref.gunma.lg.jp
<http://www.pref.gunma.jp/07/p03100039.html>

ぐんま男女共同参画センター センター通信 No.24
【発行】群馬県ぐんま男女共同参画センター
【発行日】平成25年3月29日
・次号のセンター通信は平成25年5月発行予定です。

とらいあんぐるん

ぐんま男女共同参画センター通信

2013年3月 No.24



ぐんま男女共同参画センター
〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12
TEL: 027-224-2211
FAX: 027-224-2214
メール: sankakuse@pref.gunma.lg.jp

上野千鶴子さんの講演会を中之条町と共催で実施しました

「人口減少社会の安心できる老後 ～女性が主体の地域づくり～」

ぐんま男女共同参画センターでは、より多くの県民の方に男女共同参画について考えていただくきっかけになればと、平成22年度から県内の町村を会場に講演会を実施しています。今回は、3月16日（土）、中之条町ツインプラザ（中之条町伊勢町）を会場に上野千鶴子さんの講演会を開催し、県内各地から192名の方に参加いただきました。



日本は今、人口減少期を迎えています。半世紀後には6千万～7千万人になると予想されています。その原因は、40代男性の4人に一人、30代では3人に一人が生涯非婚者であろうと言われるほど、未婚者が多くなったことがあげられます。また、既婚者の側もこれほどまで超高齢社会になると予期しなかったため、老後の保険と見込んでいた子どもに先立たれる事態（「高齢逆縁」という）も見受けられます。

日本には「介護保険」という立派な制度があります。介護保険は、在宅支援をうたっているものですが、これは、介護する家族の立場からみれば、自宅が24時間365日の介護職場となることであり、結果的に介護サービスを利用した施設入所を希望するケースが多い状況となっています。施設入所の意思決定は家族にあって介護サービス利用者本人にはないという現状が生じてしまっているのです。

では、「家で死ぬ」という選択肢はないのでしょうか？

今、地域全体を病院と考え、「在宅一人死」を看取る実践者（医師）が現れてきています。「家が病室」「地域が病院」ととらえ、介護・看護・医療が連携し、24時間お呼びに応えるというものです。このような「志」「フィーリング」といった地域の繋がりを受け皿にして、介護やデイサービスなどを通じて「在宅一人死」を看取ろうとする流れには、女性の力が必要なのです。



「新しい縁（えにし）をつくろう」「志の繋がる人でネットワークをつくろう」といった動きの多くは女性たちから沸き上がり、これが大きな「地域力」に繋がっているのです。ここ中之条町でも、同じ志を持って安心して老後を支える地域力をつくっていったら、とても素敵だと思いませんか。

※これらの要旨は、講演の内容の一部をセンターでまとめたものです。